Letter of the M.Y. elementary school

ひ び き　南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい　かがやく子 ～

学校通信　NO.328
令和５年度１１月号
令和５年 10 月 31 日

否定？ 助言？

校長　鈴木　智彦

「校長先生にお願いがあります」　９月７日に児童数名が校長室に来ました。
「６年３組は、小児がんのことを伝えるために、都筑区民まつりでサイダーを売ろうと考えています。そのためには、校長先生の許可が必要です。許可していただけますか」
６年３組は、総合的な学習の時間で、小児がん患児を支援している「みんなのレモネードの会」とつながり、自分たちにできる活動としてサイダーのデザインづくりと販売に取り組んでいるそうです。

数日後、６年３組のラベル担当三人が、自分たちが考えたデザインへの意見を求めに来ました。そこで私は「お店屋さんごっこがしたいの？本物の店がしたいの？」と意地悪く聞いてみました。三人はちょっと考え、「店です」と答えました。
私は「それなら、二つの理由から、これは商品にならない」と伝えました。

① 絵に統一感がない
担当者それぞれが描いた人物が並んでいるだけ。自分たちの達成感はあるかもしれないけど、自分たちが楽しければいい？買うお客さんはどう思うかな？

② このデザインを通して何を伝えたいのかが感じられない
一番伝えたいのは「みんなのレモネードの会」や「小児がん支援」では？
それはどこから読み取れるの？

三人はうなずきながら聞き、その場で改善点を話し始めました。

６年３組より

【改善前】

【完　成】

自分たちが頑張っていることだから、よい評価を聞きたいと思うのは当然です。でも、よりよくするためには、厳しい言葉を受け入れられるかどうかが大事です。今回の件も、場合によっては「一生懸命考えたのに、否定された」と受け取ることも十分、あり得ました。しかし、この三人は「否定」ではなく「助言」ととらえ、改善に向け取り組みました。
そういう子どもの姿に触れた時、私はうれしくなります。

６年３組は 都筑区民祭りに出店します！

【日時】11 月 3 日（金）10 時～15 時　hands to hands レモネードサイダー250円

小児がん、そして、小児がんの患児や家族を支える「みんなのレモネードの会」のことを６年３組は支援します！　　※売り上げは「みんなのレモネードの会」に寄付します。